

# WING NEWS



*Abigaio Stabellini*



**HONDA FLYING CLUB  
HONDA FLYING SCHOOL**

**153**

**1998  
DEC.**

## ホンダフライングクラブ

# メンバーズボード完成

『杉田政男前会長から立派なメンバーズボードを寄贈して戴きました。』

会 長 濱 尾 豊



クラブメンバーズボードにつきましては、2年前から導入を決め検討していましたが、今年のクラブ大会を前にして、杉田政男前ホンダフライングクラブ会長（現名誉会長）から会長御退任を記念されてメンバーズボード（会員の皆様の名前を掲示したもの）の御寄贈を受けました。

ここに杉田政男前会長に、皆様を代表致しまして厚く御礼申し上げますとともに、謹んで皆様にご報告申し上げます。

なお、ボードは、クラブルームに掲示されており、茶褐色のチーク材のどっしりした受け板に、白色の名札が調和してゴルフ場のクラブハウスにあるような、非常に豪華なものです。

皆様も是非飛行にお出かけになり、御自分の名前をご覧になって下さい。

# 冬季飛行競技会にチャレンジ！

平成11年 2月13日（土）～ 2月21日（日）：競技日

2月21日（日）16：00～ 表彰式及び懇談会

第3回冬季クラブ飛行競技会を2月に開催いたします。実施方法は例年通り、上記期間内の参加者の都合の良い日を選んで競技日とし、競技を実施。その成績を集計して21日に表彰式を行います。科目はノーマル着陸、ノーフラップ着陸及び270° スポットランディング2回で、接地点のみで順位を決定します。競技の御参加については前日までに電話でお申し込みください。多くの皆様の御参加をお待ちしております。尚、最終日は15：00にて競技は終了し、16：00より表彰式及び懇親会を本田航空の社屋内にて開催致しますので競技の参加、不参加に係わらずクラブ員相互の親睦を深めるためにも是非ともご参加をお願い致します。

参加申し込み：☎0492-99-1105 本田航空運航部（直通）

お申し込みの際には、(1)「競技実施のご希望日時」

(2)「表彰式、懇親会の参加、不参加」をお願いします。

また、大会参加のための練習飛行は10%割引サービスをしています。（大会参加予定者が対象となります。ただし他の割引との併用はできません。）科目は離着陸のみですから、今まで参加を迷っていた方も、ぜひ集中して練習してチャレンジしてみましょう。

（練習割引期間2月1日～競技参加前日まで、タッチ&ゴー練習で30分以上のフライトについて10%引き、運航管理にその旨を御連絡下さい。）

## 航空従事者学科試験のお知らせ

受付 平成11年1月8日～1月22日

試験日 平成11年3月28日（日）

自家用、事業用、計器 その他



## ●年末年始休業のお知らせ

本田航空(株)は12月31日(木)、99年1月1日(金)を年末年始とさせていただきます。よろしくお願ひします。なお、12月30日(水)まで、及び1月2日(土)からは通常通り営業しておりますので、飛び納め・飛び初めにどうぞおいで下さい。

## ●行ってみたいな、よその空<sup>く</sup>港<sup>に</sup>〜♪

—ロングナビ補助実施中ですよ!—

期間 平成11年3月31日まで

大島を含む第3種空港以上へのフライトを対象に、1人に¥5000の補助金がホンダフライングクラブより支給されます。クラブ員ならだれでも、1機に数名で同乗していてもOK。10月末現在で15名のクラブ員の方が受けとっておられます。先着40名様までですから、まだ十分に余裕は有ります。ひとつ楽しい計画を立ててみませんか。

## ●ナイトフライト割引のお知らせ

サンセットが早く、夜景が特に美しいこの季節、ナイトフライト割引を実施します。この機会に御家族・ご友人の方々に美しい夜景をプレゼントしてはいかがですか。またはナイトのチェックアウトがまだのクラブ員の方はそれを目指してトレーニングしてみませんか。シラバスは5時間です。割引の期間は2か月ですから計画を立てて、チャレンジしてみましょう。詳細は運航部へお問い合わせ下さい。

実施期間：平成10年12月1日(火)～平成11年1月30日(土)

条件・PIC・同乗を含む。

- ・19:00までにランプインすること。それ以降は割引対象外となります。
- ・飛行時間30分以上
- ・火・木・土のみ
- ・12月19日～25日、12月31日をのぞく。

以上で10%OFF

## ●「航空特殊無線技士」はもう取得しましたか？

平成11年1月の学科講習会では航空特殊無線技士の集中講座を行います。全4回の講習で、これまで受講した方々のほとんどが試験に合格しています。この無線のライセンスは単独飛行までに取得していただく必要があります。スクールに入会したらまずこの無線の免許を取得してください。詳細はP13にあります。また、試験日は以下の通りです。がんばって下さい。

申請受付：平成10年12月1日(火)～12月21日(月)まで

試験日：平成11年2月3日(水) 13:00～



## クラブ見学会レポート

会員 No.5650 堀内元就

1998年9月17日、台風一過の青空の下、日航トレーニングセンターにホンダフライングクラブ台風一家約20名が訪れた。まず始めに日航社員食堂にて昼食を取ると言うことで、5階食堂室に案内され昼食を取った。食事美味しかったが、なにより羽田空港のC滑走路が一望できる事と、キャビンアテンダント研修中らしき綺麗なお姉さま方たちを拝む事ができた。

胃も心も満たされた後、本日のメインであるシミュレーター実習である。1機15億円もするシミュレーターをなんとMD-11とB737-400の2機も貸していただけるというありがたい話である。

私はB737-400にチャレンジさせていただける事になった。B737といえば日航系ではJTAや最近ではJEXなどで採用されてる機材である。設定は、日航訓練施設のある下地島RUNWAY35からTAKE OFFのCLOSED TRAFFICでTOUCH AND GOを行うと言う内容である。もちろん飛行条件はwind calmのVFRなのでB737-400本来の性能が楽しめるというわけである。日頃、セスナを木の葉が舞うのごとくフラフラと飛んでいるような技術のない私を親切にご指導いただいたのは、飛行教官でもあり現B737の機長でもあるキャプテン、中富さんである。操縦席に座り緊張が頂点になるとラダーペダルを押さえるつま先がつりそうになる。(私のクセである) 始めに思った感想だがやはりパワーがあることあること!。3000までClimbの指示があり操縦桿を握るが「あ!!!」と言う間である。あわてて操縦桿を戻しても気が付いたら4000近くまで上がってしまっている。

次の指示がHeading 23ということで旋回を始めるがなかなか曲がりきらないので無意識にBankが50°を越えるSteep turnになりアラームがなる。ここで機体の大きさがデカイ事に気が付く。PAPIを見ながらLanding。RUNWAYの軸線に乗り進入角もOKと思った矢先、教官から「flare!」の声と同時に操縦桿をめいっばい引くが時既に遅し。お尻に「ドッカン」と衝撃を受けたのと同時にFull Power、そのままTOUCH AND GOという事態になり機体の大きさの感覚もつかめないままなんともはずかしい結末である。こののち私よりもベテランの方が操縦したが、やはり感覚がつかめなかったのかClash!で目の前の画像が真っ赤。まさにこの時の為のシミュレーターであると実感した。

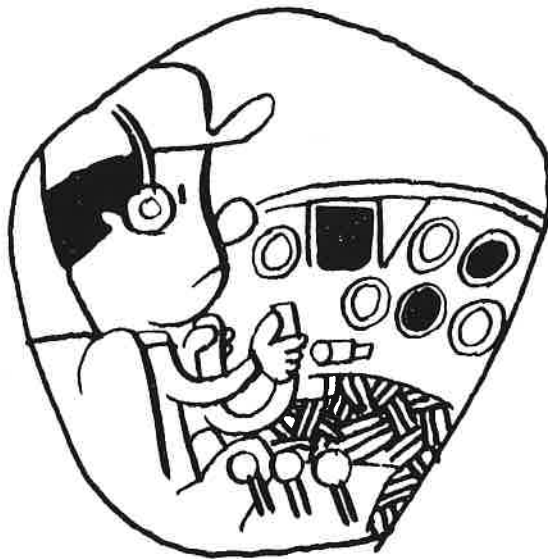
シミュレーターがなんとか終了して、他のグループが終了するまで待合室で一時休憩を

取りながら日航の総務の方と業界裏話に花が咲いた。(ラインパイロットが健康面で注意していることは視力ではなく糖尿病とは驚いた。)

全員がシミュレーター終了後、整備工場にてDC-10の整備を見学した。特に印象に残ったのがエンジンの整備での解説で、タービンブレード(チタン製)1枚の値段が200万円し(私の愛車より高い)これが毎週のようにバードストライクにより何枚も交換するというなんとも太っ腹な話である。

夕刻になり、懇親会に参加するため羽田より銀座に移動した。フライングクラブ会長よりありがたいお話を拝聴し宴が始まった。日頃会話を交えない仲間と意気投合し、又私たちにご指導頂いた中富キャプテンより、初めてソロフライトした時の感動話や、プロになり初めてサンフランシスコへフライトしたときの奇跡のLanding話など、遠い存在だったラインパイロットがとても身近に感じられた。楽しい時間はすぐ過ぎてしまうもので、副会長より締め言葉の聞き終了となった。

まだ、このシミュレーター体験(クラブ見学会)に参加されたことがない方がいるのであれば、機会があれば参加をお勧めする。空を愛する仲間との交流、及びこれからまず無いであろう旅客機(シミュレーター)を操縦体験し感動して頂きたい。



# クラブ大会と台風

—クラブ大会報告と講評—

石戸 教官

今年は台風の発生件数が少なく、まさかクラブ大会と重なるとは思ってもよらないことでした。2～3日前から進路、速度を予想しながら皆で頭をかかえていました。直接の影響は受けないまでも、延期は半ば仕方ないとあきらめていました。

大会前日の講演会、懇親会は案の定小雨の降る中で行なわれました。それでもそれぞれ33名、29名の参加者があり、こ



選手宣誓

この行事をクラブの皆様がいかに楽しみにしておられるかがうかがえました。講演会は元航空自衛隊パイロットの利渉弘章氏による超音速飛行について、我々のセスナからは計り知れない世界のことを楽しく想像することができました。又、氏は懇親会にも参加され、ビンゴゲームを楽しむなどとても気さくな方でした。

さてクラブ大会当日は予想通り雨は上がり、晴れ間も見えるが風も強い。TAFを見ても日中一杯は多少弱くなるが風の強い一日を予報していました。とても朝9時の開会は無理の様相で、それでもさすがはホンダフライングクラブ、22名参加予定者の内14名がこの風の中でエントリー。(今回参加予定者が少なかったのはNAVを取り入れ、経験の少ないスクール生の参加が少なかったためで、例年は40名前後の参加があります。その分狙い目



行ってきまーす

だったかもしれません。又、エントリーできなくても、後席に同乗できるシステムをとりましたので、来年の参考のために同乗された方もいたようです。ほぼ全機に同乗者があり、荒天にもかかわらず例年通りの賑わいとなりました。)朝の時点では風が $180^{\circ}$ ～ $220^{\circ}$ で25ノットを越えていましたが、徐々に減少していったので12時のFCSTを見て、12時半に





開催を決定。それでも風は220° からMAX15ノット程度でした。真横の15ノットはとても厳しいものがあります。

NAVも風をうまく読んだ人が有利となります。仮りに上空で30ノット吹いていたとすると行きと帰りとはGSがほぼ倍の違いとなります。変針中にも風に流されないことが重要となります。

このような状況の中で開催されましたが、いつも感心させられるのはどんな状況でも高得点の争いとなっていることです。270° スポットについては、ファイナルアプローチを見ても木の葉のように揺れています。半数の人がGo Aroundされましたが、着陸した方は6点以上の場所に接地しています。

この厳しい状況の中で見事優勝を手にしたのはクラブ員の益田さんでした。益田さんは大会前は何度も練習されていました。やはり練習が一番大事なのでしょう。

1位	益田正人	NAV16点	スポット6点	計25点
2位	新妻豊太	20点	2点	22点
3位	市川浩和	18点	2点	20点
3位	赤塚正信	18点	2点	20点

——27回大会に向けて準備怠りなく!!——







## 「第26回本田宗一郎杯争奪飛行

## 大会に参加して」

No.5658 市川浩和

ライセンスを目指しホンダフライングスクールの門を叩き早、2年6ヶ月と年月が流れクラブ飛行大会への参加も冬季ミニクラブ大会も含め3回目となりました。過去の大会を振り返ると経験不足がそのまま結果となり非常に悔しい思いと次回の大会は万全の態勢（練習）で臨もうと考えていました。しかし前回の大会から仕事の都合上あまり練習に來れず



今年の大会もいい結果が残せるか不安でしたが参加する事に意義がある、と思い参加申し込みをしました。しかし参加するからには優勝（訓練生の身分では10年早いと先輩方から怒られそうですが）したい。そう思わずは練習、航法計画書作成実際飛ぶこと2回、しかし思った以上に正確な時間が出ず頭をよぎるのは今年も不本意に終わるのかなという思いでした。

そんなこんなでいよいよ当日、前日からの台風の影響で暴風雨、今日は中止かなと考えつつクラブルームで待機、先輩方と飛行談義、緊張感も無くなりかけたころ午後から様子を見ながら実施するとの連絡。あたふたと飛行計画書の作成、しかし風をどう読むか？…



いろいろ情報収集しながら何とか完成、後は運に任せて飛ぶだけだ。飛行の順番は2番目先発の方々の離陸を見送りいざ準備、頭の中でシミュレーション…よし完璧だ!!!

先発の方々が飛行場に続々と戻り最終競技のスポットランディング、しかし強い横風を受けかなりオーバーシュートごみ、またも頭の中でシミュレーション(横風が強いからクロスウィンドウを長めにしてダウンウィンドを…)いろいろ考えている内にいよいよ本番開始、離陸上昇一路大宮駅上空へ。

いよいよNAV START。タイムチェック計算、境大橋到着、ホンダAP到着の報告、高度、速度、方位チェック…境大橋ダイレクトにホンダAPに針路変更、高度1500Ftに降下まもなくCP久喜IC、タイムチェックただでさえ苦手の計算ですが、今日は気流も悪く、機体を何とか安定させながら計算終了、ETA報告、後は天に運を任せるだけ、順調に飛行、遠くにホンダAP確認、手元の時計を見るとかなり早く到着しそうな気配、しかし思った以上に向かい風が強くとホンダAPがなかなか近くにこない。もしかしてピッタリの時間かも・・・横目で時計を見つつ思わずニンマリ。まもなくホンダAP直上なんとほぼ正確な到着、やった!後はスポットランディングのみ、一瞬頭の中を優勝の二文字がよぎる…手順通りランディング開始ダウンウィンド滑走路を確認しながらターニングベースよし高度も練習通りだししかし予想を遥かに上回る風でオーバーシュートなんとかファイナルに持ち込むも、ランウェイ14は遥か彼方…だめだ…無念のゴーアラウンド。

競技結果は30点満点の20点であり、スポットランディングが悔やまれるが今の自分自身の操縦技量をとりあえず出し切った結果なので納得です。競技も順調に進み表彰式、同点だった方とのジャンケンに勝ち、何とか念願の3位を獲る事が出来ました。私にとって今後の訓練の励みになるクラブ大会になりました。

今回のみならず大会運営関係者の方々皆様ご苦労様でした。

氏名	大宮駅到着時		得点	境大橋到着時		得点	NAV NAV Spot	合計	順位
	ETA	ATA		ETA	ATA				
1 新井 豊 <sup>(3)</sup>	50'30"		10	50'20"	50'10"	10	0 20 2	22	2
2 高井 周 <sup>(4)</sup>	58'08"		4	53'40"	52'17"	-8	0 -4 3	4	11
3 菅川 達治 <sup>(25)</sup>	53'30"		0	53'30"	52'04"	-20	0 -20 0	-20	14
4 齋藤 正人 <sup>(21)</sup>	59'13"		10	58'53"	59'20"	6	0 16 9	25	1
5 中野 史 <sup>(20)</sup>	30'50"		4	30'40"	32'23"	-5	0 -4 2	-2	12
6 阿波 季一 <sup>(18)</sup>	34'19"		8	34'19"	35'03"	2	0 10 7	17	5
7 市川 浩和 <sup>(17)</sup>	39'28"		8	38'18"	38'13"	10	0 18 2	20	3
8 赤坂 正信 <sup>(23)</sup>	41'02"		8	42'00"	41'55"	10	0 18 2	20	4
9 斎藤 彰 <sup>(22)</sup>	16'20"		10	13'30"	16'30"	-24	0 -4 6	-8	13
10 西久保 祥登 <sup>(19)</sup>	19'00"		-	19'40"	20'40"	3	0 4 2	6	10
11 原田 高明 <sup>(7)</sup>	22'30"		5	22'30"	23'07"	4	0 12 2	17	9
12 清水 一徳 <sup>(24)</sup>	24'30"		6	23'15"	24'15"	-2	0 4 9	13	6
13 矢部 佳弘 <sup>(26)</sup>	53'35"		8	53'35"	50'30"	0	0 8 2	10	7
14 小野 亨 <sup>(23)</sup>	57'55"		6	57'55"	54'15"	-6	0 0 8	8	8
15									

## 講演会感想

No.5659 石田 匡 昭

平成10年10月17日、元航空自衛隊のTEST PILOTであった利渉弘章氏による講演会が行われました。当日は、台風10号が接近中で、雨天にみまわれたにもかかわらず30名以上の出席者が来場されました。



今回は「超音速領域の飛行特性と問題点について」という日頃セスナ172で訓練している私には、縁のなさそうなテーマでありましたが、未知の領域でのお話にな

らず興味を抱きながら参加しました。

講話は、超音速領域の空気力学の特徴に始まり、ときの主力戦闘機であったF104のあのとがった鉛筆のような、その特異な形状について、また亜音速領域から超音速領域に到達するまでの遷音速領域においては、流速の最も早い翼上面が真っ先に音速に達してしまい衝撃波が発生、その影響で抵抗が増加し超音速領域である音の壁を超えにくいものになっている事象や、超音速領域到達時に高度計の指度が著しく変化を起こすマッハジャンプ、機体と空気の摩擦で発生する空力加熱、超音速領域から亜音速領域に復帰時、重心変化に伴う非定常運動であるロールカップリング等、古今における現状や問題点、そしてアメリカとロシアが共同でTU-144を改良し、風洞実験やデータ収集等、超音速旅客時代到来へ向けて共同で研究をしているなどの話も盛り込まれていました。

当初は、画像と文書をコンピューターで表示する予定でしたが、ソフトの都合で画像と一緒に表示できない事態が発生し悔やまれておられましたが、しかしながら同じ空での出来事に、飛行機好きが集っているのですから、知識として楽しめたのではないのでしょうか。

講話後のクラブ員からの質問では、昔航空自衛隊ではF-86を使用してアルプス上空においてマッハの訓練を行っていた。との回答に矢野常務も経験者らしき発言がとび、どよめきと歓声のうちに幕を閉じました。

## ホンダエアポート周辺のおいしい店 No.27

スタミナ中華

住所 桶川市東1-3-24

電話番号 048-773-8109

娘娘 (にゃんにゃん)

営業時間 11:30~14:00

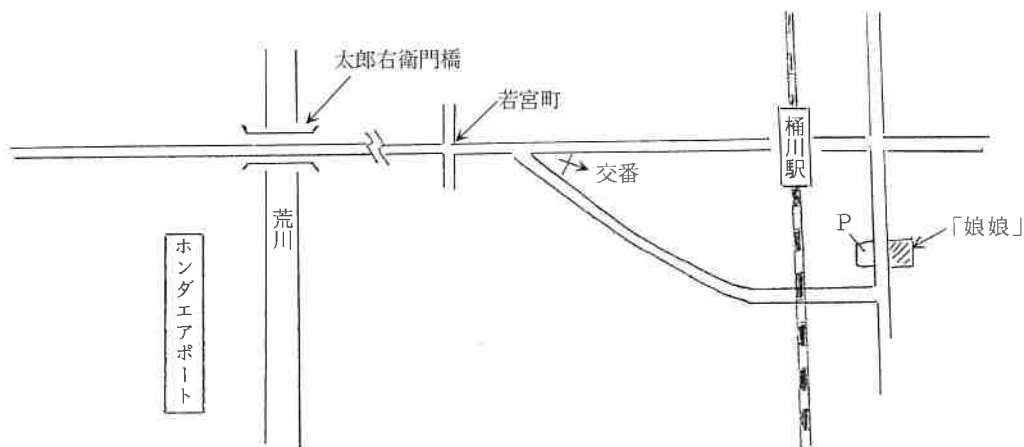
17:00~20:00

今回は、桶川で学生に大人気のスタミナ料理の店「娘娘」をご紹介します。人気メニューナンバーワンの「スタカレー」は、ご飯の上にニラとひき肉を豆板醤で炒めた具が入ったあんがかけられていて見るだけでスタミナがつきそうです。同じ具をかけた「スタミナラーメン」も人気メニューのひとつです。その他、餃子、中国風みそラーメンなどもおすすめ。桶川駅からも近く、駐車場もありますので、ボリュームたっぷりメニューでいっぱい「娘娘」是非一度ご賞味下さい。

〔メニュー〕

スタカレー	400円	焼そば	460円
スタミナラーメン	460円	餃子	300円

その他一品料理もあります。



### 新入会員紹介

(敬称略)

フライングスクール

5696 太田秀一 H10.9.13

5697 宮上壽美雄 H10.11.1

フライングクラブ

1964 戸谷 真 H10.9.7

1965 鈴木宣勝 H10.9.14

1966 小出俊弘 H10.10.1

1967 佐藤安弘 H10.10.10

1968 小林亮介 H10.10.28

# USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

1月中に切れる方

神谷 宏次 H11.01.29

2月中に切れる方

阿波 孝一 H11.2.19

柴田 英明 H11.2.12

高瀬 明彦 H11.2.12

村山 徳彦 H11.2.09

松井 淳 H11.2.19

## ●申請に必要なもの

住民票（本籍地記載のもの、発行3ヶ月以内）……………1通

練習許可申請書（身体検査を受診する病院でお受取り下さい）……………1通

③申請書の住所及び本籍は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さず書いて下さい。氏名の後部に朱肉印捺印、また、欄外に捨印を押して下さい。シャチハタ印、又はこれに類似した印は不可。

③身体検査は有効期限の1カ月前以降に受けて下さい。申請書の有効期限は1カ月です。手続きに時間がかかる場合がありますので受診したらすぐに、遅くとも有効期限の10日前までに、申請をお願いします。

写真（インスタントは不可）たて3cm×よこ2.5cm……………2枚

③写真の裏側にならず記名して下さい。

申請諸費用……………3,200円

## ●身体検査の受診場所（事前連絡が必要です。）

宮入内科（有楽町交通会館）……………03-3211-4845

中溝クリニック（港区芝浦東芝ビル4F）……………03-3452-4468

国際空港診療所（羽田空港全日空到着ロビー近く）……………03-5757-1122

聖母クリニック（立川市羽衣町1-7-10）……………0425-22-5234

東海大学医学部付属東京病院（渋谷区代々木1-2-5）……………03-3370-2321

## 【個人で操縦練習許可書をお取りになった方へのお願い】

個人で操縦練習許可書の申請を行っておられるスクール生の方は、管制区内での操縦練習の許可申請で個人の練習許可番号及び有効期限が必要となりますので、是非お早めに本田航空、運航部まで御連絡下さい。 TEL 0492-99-1105（運航部直通）

# 学 科 講 習

1 月	
日付	科目
8日(金)	特殊無線 1
10日(日)	運航一般 4
17日(日)	特殊無線 2
22日(金)	特殊無線 3
24日(日)	空中操作 4
31日(日)	特殊無線 4

2 月	
日付	科目
5日(金)	法 規 2
7日(日)	運航一般 1
19日(金)	工 学 1
28日(日)	空中操作 1

1 月には特殊無線の集中講座があります。SOLOに出るまでには取得しましょう。

学科講習受講を希望される方は当日のPM5:30までに運航部(0492-99-1105)まで御連絡下さい。連絡が無い場合、休講となります。お手数ですがよろしくをお願いします。

## 学科講習携行品

航空法規：航空法 AIM 1/50万チャート

航空気象：新・天気予報の手引 AIM

航空通信：AIM VFR交話法

航空工学：航空工学入門 セスナ172取扱法又はセスナ172飛行規程、(あればシステム・スタディ)

航 法：基礎航法教室 航法計算盤の使い方 コンピューター プロッター  
1/50万チャート 航法計画書の作り方と飛行の仕方  
ナビゲーションログ 操縦訓練マニュアル

計器飛行：操縦訓練マニュアル AIM 飛行機操縦教本

空中操作：操縦訓練マニュアル 飛行機操縦教本

運航一般：AIM VFR交話法 飛行機操縦教本

特殊無線：電波法規 無線工学





## クラブ員の皆様へ

・ 最近あたたかい日と寒い日がくり返しやっ  
てきます。こんな時ちょっとしたタイミング  
で人はポカミスをおこしがちです。滑走路方  
向をまちがえたり、フライトプランクローズ  
を忘れたりしがちです。慣れた事でも、注意  
力を維持して安全にネ！

- ・ ナイトトレーニングはPIC及び同乗教育と  
もに火木土のみとさせていただきます。
- ・ 本田航空ではホンダフライングスクール入  
会希望者及びホンダクルマ購入希望者を御  
紹介いただいたクラブ員、スクール生の方  
に無料飛行券を進呈しております。

スクール入会者の紹介…… 1時間飛行券  
ホンダ車購入希望者の紹介（御成約のみ）  
……20分間飛行券



ウィングニュース 153号

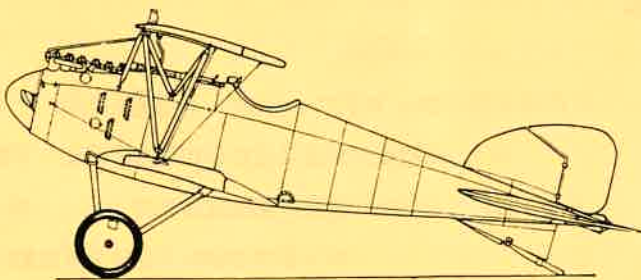
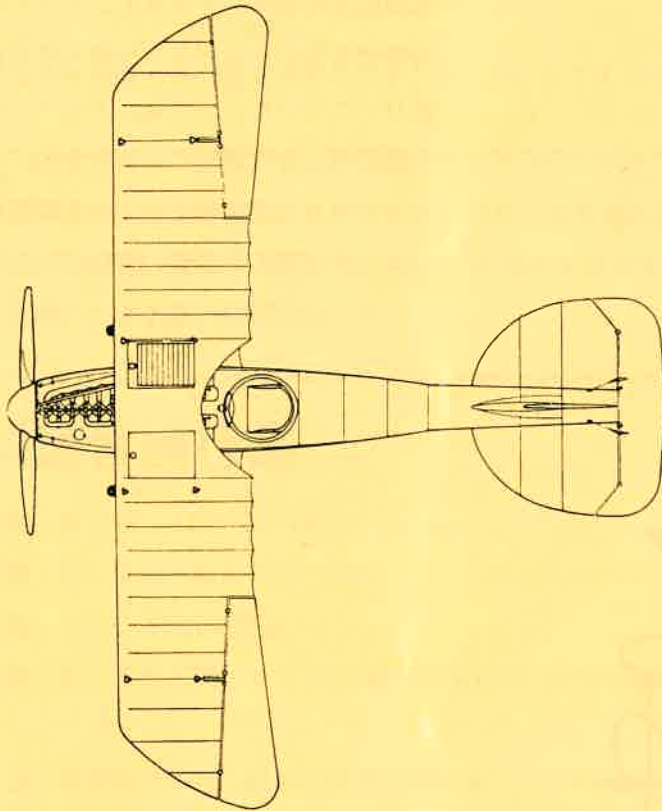
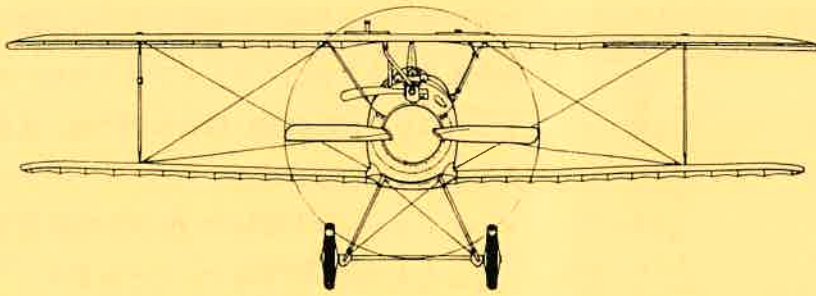
発行者／埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

ホンダフライングクラブ事務局

Tel 0492-99-1105(代) 〒350-0141

表紙イラスト／板橋 繁男



---

### アルバトロス D III ドイツ

---

動力：メルツェデスD III a 6気筒液冷エンジン160hp. 1基. 寸法：全幅9.05m, 全長7.33m, 全高2.98m, 翼面積20.5m<sup>2</sup>. 重量：自重661kg, 全備重量886kg. 性能：最高速度165kph, 1000m上昇まで4分, 航続時間2時間.  
武装：スパンドウ機銃2基装着. 配備登録：1917年初頭.

